



議会だより

鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#)

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成26年7月臨時会（7月31日）

9月定例会（9月3日～26日）

平成25年度一般会計及び6特別会計決算を認定

●定例会等の概要

- 7月臨時会では、補正予算議案の原案訂正を承認し、新たな補正予算議案1件を可決しました。
- 9月定例会では、16名の議員が一般質問を行いました。
 - ・市長提出議案として、条例関係議案12件、補正予算議案8件、その他議案4件を可決。鎌倉市職員の給与に関する条例等の一部改正条例議案を修正可決。平成25年度一般会計ほか6特別会計決算を認定しました。
 - ・議会提出議案として、「神奈川県に対し、子宮頸がん予防ワクチン接種後の健康被害者への医療支援を求める意見書の提出について」ほか1件を可決、陳情3件を採択しました。

●定例会等の主な動き

- 7月臨時会／本会議、総務常任委員会…議案上程、委員長報告、採決（4面）
- 9月定例会／本会議（9/3～8）……………一般質問、議案上程、採決（2～4面）
- 各常任委員会（9/9～12、26）……………議案・陳情審査等（3～4面）
- 廃棄物有料化補正予算等審査特別委員会（9/16）…議案審査（1・4面）
- 決算審査特別委員会（9/17～22）……………決算認定議案審査（3～4面）
- 本会議（9/26）……………委員長報告、議案上程、採決（3～4面）

ごみの有料化に関する特別委員会を設置

～ 鎌倉市議会ってどんなところ? Vol.10 ～

特別委員会ってどんな委員会?

特別委員会は、審査する事項が決まっている常任委員会とは別に、2つ以上の常任委員会に関係する事項や、特に重要な事項など、特定の事項を審査するため必要がある場合に、本会議での議決により設置されます。

【例えば、予算等審査特別委員会、決算審査特別委員会、議会基本条例の制定に関する調査特別委員会など】

家庭系ごみの有料化と議会の動向

平成25年9月定例会

家庭系ごみの戸別収集・有料化実施の計画を見合わせることを求めることに関する決議を可決(多数)

平成26年2月定例会

平成26年10月から家庭系ごみの有料化(以下「有料化」)を先行実施する条例改正議案が提出されたが、委員会での審査中に撤回され、新年度予算の有料化に関わる部分が減額訂正された

平成26年6月定例会

平成27年1月から有料化を先行実施する条例改正議案と補正予算議案が提出され、条例改正議案は可決(多数)、補正予算議案は慎重な審査を必要とするとして継続審査とした

平成26年7月臨時会

継続審査としていた補正予算議案から、有料化以外の部分が切り離され、新たな補正予算議案として提出され、可決(総員)(有料化に関する補正予算議案は引き続き継続審査)

平成26年9月定例会

有料化開始時期を平成27年1月から4月に変更する条例改正議案が提出され、継続審査となっていた有料化に関する補正予算議案とともに、議会全体としてより丁寧・慎重に審査すべきとして廃棄物の有料化に関する補正予算等審査特別委員会を設置

<有料化の背景>

循環型社会を構築するため、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、平成8年度には年間約7万トンあったごみ焼却量は、平成25年度には36,622トンとなり、市民の皆様の協力のおかげで、リサイクル率は全国トップレベルを維持しています。

しかしながら、市内2カ所にあるごみ焼却施設は老朽化しており、今泉クリーンセンターは平成27年3月に焼却を停止し、もう一方の名越クリーンセンターで焼却できる量は年間3万トン以下であるため、さらなるごみの減量が課題となっています。

市では、ごみの発生抑制や再生利用の促進、排出量に応じた公平平等の視点から、ごみの有料化が発生抑制等に効果がある重要な施策としています。



かまくら3R推進
マスコットキャラクター

廃棄物の有料化に関する補正予算等審査特別委員会の審査結果

議案第58号 鎌倉市廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について【可決(多数)】

議案第17号 平成26年度鎌倉市一般会計補正予算(第2号)【可決(多数)】

※本会議の議決結果は4面をご覧ください

委員会での委員からの主な意見

【主な賛成意見】

- ・有料化の実施に当たっては、市民への丁寧な説明など理解を得る取り組みが必要
- ・現行のごみ処理基本計画における最重要施策の一つであり、今泉クリーンセンターの焼却停止が今年度末に控える中で、計画に遅滞を及ぼす事態は避けなければならない
- ・公平性を担保するために、有料化という施策が有効であり、長期的かつ全体的な視点で事業を行うべき

【主な反対意見】

- ・費用対効果のよくない有料化を進めるべきではなく、有料化により徴収した手数料の明確な用途が示されないこの提案は税金の二重取りともいえる
- ・有料化を実施する前にやるべきことがある中で、解決策を市民に押し付けるのは賛成できない
- ・ごみが減り、市民の意識が変わっても、有料化を続けていくことの姿勢に問題がある

廃棄物有料化補正予算等審査特別委員会委員

委員長	渡辺 隆 (みんなの鎌倉)
副委員長	吉岡 和江 (日本共産党鎌倉市議会議員団)
委員	長嶋 竜弘 (草莽の会)
	保坂 令子 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
	上島 寛弘 (自由民主党鎌倉)
	西岡 幸子 (公明党鎌倉市議会議員団)
	池田 実 (鎌倉みらい)
	永田 磨梨奈 (鎌倉夢プロジェクトの会)
	小野田 康成 (鎌倉夢プロジェクトの会)
	久坂 くにえ (みんなの鎌倉)